

ウワバミソウ (*Elatostema umbellatum* var. *majus*) の増殖方法の検討

戸澤 一宏

Consideration of condition about
Multiply *Elatostema umbellatum* var. *majus*

Kazuhiro TOZAWA

Abstract : It reviewed about the propagation method of *Elatostema umbellatum* var. *majus*. The propagation method uses a brood bud because *Elatostema umbellatum* var. *majus* is a dioecism but to put a seed is rare. It reviewed about being related between the size and the withering percentage of the brood bud and so on and it reviewed about the optimum about the multiple.

要旨：ウワバミソウ (*Elatostema umbellatum* var. *majus*) の増殖法について検討した。ウワバミソウは雌雄異株であるが、種子をつけることはまれなので、増殖法はムカゴを用いる。ムカゴの大きさと枯死率の関係などについて検討し、増殖に関する最適条件について検討を行い、ムカゴからの増殖についてまとめた。

1 はじめに

ウワバミソウ (いらくさ科 *Elatostema umbellatum* var. *majus*) は、ミズ、ミズナとも呼ばれ、春から初夏、秋と2回の収穫期があり、しゃきしゃきとした歯ごたえとクセもなくおいしい山菜である。(Photo-1) 自生地は沢筋の湿り気のある場所で、時折群生している。ウワバミソウは秋田県を代表とする東北地方などで利用されているが、栽培についてはほとんど行われておらず、山取りによるものがほとんどである。ウワバミソウは雌雄異株であるが、種子をつけることはまれで、葉の基部にできるムカゴにより増殖できる可能性が推測された。当研究所の附属施設である八ヶ岳薬用植物園においても、植栽地域の下流域において、ウワバミソウが確認され、ムカゴによる増殖が可能であると思われる。

本研究では、このムカゴによる増殖法について検討し、苗の作出における最適条件について検討する。

2 試験方法

ウワバミソウは、花が葉柄基部から花茎がでて、その後、葉柄基部に褐色のムカゴができる。ムカゴの大きさ



Photo-1 ウワバミソウのムカゴ

は、茎下部から上部にかけて小さくなる。ムカゴの採取時期は、ムカゴが熟し、茎から分離するころを目安に採集した。試験はムカゴを苗床に蒔き、生存率を測定することにより最適条件について検討した。

2-1 ムカゴの大きさの検討

ムカゴは、茎下部から上部にかけて小さくなる傾向がある。その大きさが生存率にどのような影響を及ぼすか検討した。ムカゴの最大径を測定し Table-1 のように大きさ別に分類した。

Table-1 Diameter of propagule

No.	Condition
No. I	under 3mm
No. II	3mm-6mm
No. III	over 6mm

2-2 用土の検討

ムカゴから苗の生産を行う場合の用土について検討した。用いた用土は Table-2 に示した条件で行った。

Table-2 Composition of soil

No.	Condition
No. I	赤玉土
No. II	赤玉土+プロミックス(10% Vol.)
No. III	赤玉土+プロミックス(20% Vol.)
No. IV	赤玉土+プロミックス(30% Vol.)
No. V	赤玉土+プロミックス(40% Vol.)

3 結果

3-1 ムカゴの大きさの検討

成功率に及ぼすムカゴ径の影響の影響について試験をしたところ Table-3 に示すような結果となった。

Table-3 Effect of Diameter of propagule on Propability of success

No.	試験数 (本)	成功 (本)	枯死 (本)	成功率 (%)
I	100	93	7	93.0
II	100	97	3	97.0
III	100	98	2	98.0

ほとんどのムカゴから、芽が出てきていることから、ムカゴの大きさは、成功率に影響は与えない。

しかし、作出された苗の大きさには、影響を与えていることが観察された。

3-2 用土の検討

成功率に及ぼす用土の影響について得られた結果を Table-4 に示す。

Table-4 Effect of Composition of soil on Propability of success

No.	試験数 (本)	成功 (本)	枯死 (本)	成功率 (%)
I	100	97	3	97.0
II	100	98	2	98.0
III	100	97	3	97.0
IV	100	96	4	96.0
V	100	99	1	99.0

成功率に対する用土の影響もほとんどないことが判明した。今回の試験結果には示していないが、畑の土で試験をしてもほとんど枯死することはなかった。

4 考察

ウワバミソウの苗作出の条件について試験したところ、ムカゴを用いた場合、ほぼ95%以上成功率が得られた。用土、ムカゴの大きさには影響されないが、得られる苗の大きさは、ムカゴの大きさに影響されるので、できるだけ大きなムカゴを用いることにより、収穫までの期間が短縮されることが判明した。